



## ご挨拶

びわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部にご入学された新入生の皆さん、ご入学おめでとう。私たち、教職員は皆さんのご入学を心から歓迎いたします。

目下流行しています新型コロナウイルスのため、一堂に会してお話しできないことを残念に思います。

さて、多くの大学の中から、本学を選んでいただいたことを嬉しく思います。しかし、皆さんの中には、必ずしも第一志望ではなく、不本意ながら本学に入学してきた人もおられるかも知れません。人生をリセットしたいと考えている人もいるでしょう。大学はそれを可能にする場所です。大学で学ぶ意義は、自分の個性を磨き、新しい自己を確立し、可能性を追求することにあります。本学の教育理念であります「小さな大学で大きく学ぶ」とは、まさにこのことを意味しています。

大学では、皆さんがこれまで受けてきた教育とは異なり、かなりの自由が認められています。しかし、それは何をしてもいいという意味の自由ではありません。自分で自らの規範や秩序を守る「自治」を伴う「自由」です。簡単に言えば、自分の責任で行動することを意味しています。しっかりと自分をコントロールできる自己を形成することが、自立した人間につながります。私たち教職員は、皆さんが自立して本学から巣立って行くために、あらゆる努力を惜しみません。

聖書に「求めよ、さらば与えられん。叩けよ、さらば開かれん」という一節があります。自分から進んで求めて行かなければ何も得る所がありません。自分から、扉を叩かなければ、未来という扉は開かれません。何事においても、自分から進んで行動を起こすことが大切です。中国の唐の時代に李白という詩人がいました。李白は「天、我が材を生ず、必ず用有り」と詠っています。「天が私という一個の人間をこの世に生み出したのは、きっと何かの役に立てようとしたからである」という意味です。もし、この世界に無用の人がいるとすれば、それは自分の個性を磨かず、可能性を求めない人に他なりません。

さあ、これまでの人生をリセットして新しい人生をスタートさせようではありませんか。私たちびわこ学院大学・びわこ学院大学短期大学部の教職員一同は皆さんの期待を裏切りません。皆さんの学びが実りあるものになりますように願っています。

令和2年4月2日  
びわこ学院大学  
びわこ学院大学短期大学部  
学長 沖田 行司